

## シアトルだより September 2016 Vol.6



シアトルはアメリカ合衆国の北西、ワシントン州にあります。上の左側がワシントン州の旗で、州都はオリンピアという街にあり、公的な機関が集まっています。先日、オリンピアのワシントン州教育長を訪問し、これまでの報告と、お互いのために有意義な活動になるようがんばりますと話しました。教育省は、昔の州政府があった建物を使っているのも、とても厳かな雰囲気でした。日本とつながりの深い州議会議員さんも訪ね、州議会の議事堂を案内してもらいました。州の最高裁判所もすぐそばにありました。



9月最初の週には、シアトル近郊のベルビューという街に行きました。マイクロソフトの本社も近く、大きなビルが並んでいます。「ジャパンフェア」という催しがあり、日本に関するさまざまな展示や実演がありました。そこで兵庫県のブースをお手伝いしてきました。

さて、タイトルは「シアトルだより」と書いていますが、勤めている学校はシアトルの北50kmあたりにあるマカティオという小さな市にあり、住まいも学校の近くです。マカティオにはその昔、日系の方が住まれていて、記念碑がありました。明治の終わりから大正の初めにかけて、林業に従事された方々がたくさんいたそうです。苦勞をして街を築いた先人の方々のお墓の中に日本の方のお名前もありました。当時をしのび、手を合わせました。



マカティオは灯台が有名で、9月にライトハウスフェスティバルがありました。花火や屋台があり、たくさんの人でにぎわいました。パレードも高校の前の道で行われ、ブラスバンドやダンス、チアリーディングにアメフトと、生徒もたくさん出演していました。

9月は新生が入学しましたが、入学式のようなものはなく、いきなり授業です。保護者向けには、全学年対象カリキュラムナイトという保護者の学校体験日があります。生徒と同じように、6つのクラスを10分ずつ説明を受けながら回っていくというものです。また、PTAや部



活動が、Tシャツやパーカー、帽子といった学校のグッズを作り、販売していました。その売り上げを活動資金にするためです。

秋は日本では体育大会が行われますが、こちらではありません。スポーツは盛んですが、特にフットボールのシーズンという感じで、こちらでフットボールというとアメリカンフットボールのことです。

なかなかルールが細かいので日本ではなじみにくいところがありますが、こちらではプロの試合が行われる日はあちこちでユニフォームを着ている人を見かけます。高校のアメフトの試合が行われる金曜日は、生徒も日本でいう高校野球の応援といった感じで、大勢応援に詰めかけていました。秋真っ盛りです。

